

高砂市総合計画審議会（第3回部会）  
議事録【要 旨】〔第1部会〕

開催日時	平成21年10月30日（金） 午後3時00分～午後5時00分
開催場所	南庁舎5階大会議室
部会長	前田委員
出席者	足立委員、稲田委員、柿本委員、坂口委員、田端委員、 中野委員、前田委員、山本委員、渡邊委員、宮野委員（代理 米澤）
欠席者	
議 事	(1) 配付資料について (2) 課題審議について
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>①第3次高砂市総合計画（冊子）</li> <li>②第3次高砂市総合計画 現況調書</li> <li>③第3次総合計画「施策データ」一覧表</li> <li>④第3次基本計画部会別一覧表</li> <li>⑤第3次高砂市総合計画 現況調書（要約版）・用語解説（第2回部会資料）</li> <li>⑥第3次高砂市総合計画 現況調書（要約版）・用語解説（第3回部会資料）</li> <li>⑦部会審議における主要課題のまとめ（第2回）</li> <li>⑧高砂市民・事業所アンケートのまとめ（中間報告）</li> <li>⑨総合計画策定スケジュール……………（資料1）</li> <li>⑩特定非営利活動法人調べ（第1部会関係資料）……………（資料2）</li> <li>⑪市民1人当りの公園面積及び分布図（第2部会関係資料）…（資料3）</li> <li>⑫中学生アンケート調査学校別結果（中間報告）……………（資料4）</li> <li>⑬まちづくり意見発表会実施要領……………（資料5）</li> <li>⑭第3次高砂市総合計画現況調書における考え方・意見等（第1部会） ……………（資料6）</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<b>開 会</b>
事務局	ただいまより、高砂市総合計画審議会、第1部会を開催する。部会長より、あいさつをお願いします。
部会長	皆さん、こんにちは。気候が非常によくなりました。大変お忙しいなか、高砂市総合計画審議会の第1部会を開きましたところ、全員ご出席いただきました。今日、審議すべきことは2時間で終えたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。
事務局	本日の会議は出席10名。審議会条例第5条第3項の規定により、過半数が出席しているため、会議が成立していることを報告する。当審議会の公開について、高砂市総合計画審議会の運営に関する規定に基づき公開している。傍聴希望者2名。 ○資料確認
部会長	これより議事に入る。(1)配布資料について事務局から説明願う。
事務局	○配布資料について
部会長	質問はないか。
委員	NPO団体についての詳しい資料を用意していただき、感謝している。
部会長	ほかにご意見ないか。
事務局	NPO法人のデータは、平成21年の9月18日現在である。直近の数字はホームページで確認いただきたい。
部会長	他に質問がないようなので、次に進む。(2)課題審議について事務局より説明願う。
事務局	課題審議に入る前に、前回説明したことについて、追加をしたい。防災の関係で、ハザードマップの見直しは、いつの時点であるのかという

	<p>ご質問である。</p> <p>見直しの基準としては、高砂市の地形が変わる場合、浸水想定区域が変わる場合、断層の位置が変わる場合、土砂災害警戒区域の見直しにより、対象地域が変わる場合など、現状の運用に合わないところがあれば、見直しをす るということにしている。以上付け加える。</p>
事務局	○第5章第1節 2 広報・広聴について説明。
部会長	ただいまの説明に対して質問はあるか。
委員	<p>12 ページ、市長とホットトークの廃止、市長と語る会の廃止を受け、これにかわるものとして、市長への手紙の導入をお願いしたい。高砂市ぐらい大きな市になると市民の声が上に伝わりにくい。アンケートでも、不満度が 大勢を占めており、市民は何かしらの意見を持っていると思う。他市では、市民のいろいろな意見を聞き、できないものはできないとはっきり言いながら対応し、またそれを公開していくなかで、だんだん市民の不満も聞かれなくな ったと聞く。高砂市でも、そうしたことを取り入れていただきたい。</p>
事務局	<p>市長とホットトーク、市長と語る会は、地域ミーティングというかたちに変え、年に1回、各地区で実施している。このほか市長への意見は、手紙、文書、はがき、またホームページへの書き込みによってもいただいている。また、地域ミーティングの当日のやり取りを簡単な会議概要としてまとめて公開しており、対応についても返答している。市長への個別の手紙、メールについては、差し出し人が特定されれば返答している。</p> <p>いまの提案は、新しい提案ということで受けたまわっておく。</p>
委員	<p>差し出し人が特定されなくても、寄せられた意見は公開したほうがいいのではないか。地域ミーティングでも、市長自身の答えを聞くことができない場合がけっこうある。市民の意見をみんながわかるようにしていただければ、なおよいと思う。</p>
部会長	事務局。どうか。
事務局	ご意見を踏まえて、やり方を検討していきたい。
部会長	ほかにご意見、ご質問がなければ、次に進みたい。
事務局	○第5章第2節 1 組織・人事管理について説明

部会長	ただいまの説明について意見、質問はあるか。
委員	先ほど、事業を統合すると説明があったが、例えば、人権教育は窓口を一本化したのか、事業を統合したのか。もしくは局を統合したのか。
事務局	福祉部の人権推進課と教育委員会の人権教育指導室を一本化した。
委員	部局の統合ということか。
事務局	そうだ。
委員	事業だけでなく、部局を統合したのか。
事務局	そうだ。部局統合に伴い、事業も1カ所で実施することとした。
委員	<p>類似事業を統合する以外に、市民目線で見ると統合する方法もある。類似事業の統合が一番わかりやすいが、一見すると類似していなくても関連性が強いものがある。雇用と福祉も連携している。実は、どちらも厚生労働省の管轄なのだが、いままでは福祉と労働は、所管が国と地方であり、必ずしも関連しているとは考えられなかった。それをいまは統合している。また、市営住宅の住宅部局と福祉の統合。これも統合を考えてもよい。統合の考え方を市民目線に変えたほうがよいのではないか。市民のニーズを調査し、それに合わせてゼロから統合を考えていくことも今後10年、20年を考えたなら必要ではないか。</p> <p>いまの部局体制は、高度成長期に考えられた部局体制であるため、いまの時代に必ずしも合っているとは思えない。その視点で考えたほうがよい。</p>
部会長	いまのご意見に対して、事務局、何か。
事務局	<p>難しいご提案をいただいた。例えば、水路・河川の統合をおこなったが、用水と排水は、市民にとっては同じように考えられるが、実際は所管が違い、問い合わせがたらい回しになることもあった。そのため、下水も含めて窓口を一本化した。これは市民目線での統合だと考えている。いまも組織の見直しをおこなっているが、新しい視点として参考にしていきたい。</p>
委員	<p>市町村は市民に一番近いので、例えば、子どもたちにはどんなものが必要なのか、大人にはどんなものが必要か、高齢者にはどんなものが必要なのかという視点もあっていい。先ほどの水路・河川の統合の件は非常にわかりやすい例である。今後、もう少しそういう視点を踏まえて考えると、また違っ</p>

<p>部会長</p>	<p>た統合というか、組織の在り方が出てくるのではないか。また検討願う。</p>
<p>委員</p>	<p>ほかにご意見、ご質問はないか。</p> <p>市民・事業所等への意見にもあるように、市民にとって市の部署は非常にわかりにくい。例えば、市民に名称を考えてもらうことも透明化になるだろう。行政側だけで一切考えるのではなく、市民が何をこの課に求めているかははっきりとさせておくといいのではないか。いまは、どの部署に行ったらいいのかが、わからない。</p> <p>もう一つは、経営目線でぜひとも見てもらいたい。例えば、住民票1通取るのに数百円かかるが、それは市民が対価として払っているものである。それは営業と考えて、どんどん対応していく姿勢が大事である。</p> <p>市役所の職員の職務態度を市民はよく見ている。ぜひ自分たちは高砂市のために働いていると自覚を持っていただきたい。職員が目線が行政側に向いているのか、市民側に向いているかで違ってくる。お客さまからお預かりしたお金で仕事をさせてもらっている、対価をもらっているという姿勢でやってもらいたい。それを市民にぜひとも見せてほしいというのが願いである。</p>
<p>部会長</p>	<p>これに対して、何か、事務局。</p>
<p>事務局</p>	<p>市民から見える組織づくり、仕事内容というのは一番大事なことだと思う。いま、小さい部局の統合を検討している。ただ、これまで係の名前で仕事内容がわかっていたが、統合するとわかりにくくなるといった弊害もあるように思う。ご意見を充分把握し、仕事内容の表示も含めて、組織の見直しをしていきたい。</p>
<p>部会長</p>	<p>私から事務局へのお願いが、委員から出された意見に対しての検討結果を次回、この場で披露してほしい。例えば、このように検討した結果、できた、あるいは、できないといったように分類して、委員にわかりやすく回答願いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員から出されたご意見は、現況と課題の調書のなかに、まとめて記載し、今後新しい計画づくりにいかしていきたいと考えている。そこで意見が十分に反映されているかどうかを確認いただきたい。個別の回答ではなく、調書に記載するという方法でご理解願いたい。</p>
<p>部会長</p>	<p>委員の意見は、高砂市民9万7千人の声であることを認識し、出された貴重な意見を庁内で真剣に検討いただき、前向きな姿勢で取り組んでほしい。</p>

委員	先ほど、どの部署に行ったらいいのかわからないという意見が出たが、市役所の受付の方に聞いても、きちんと教えていただけない。すべて処理できる優秀な人材を置いてほしい。他市から来た方にも、何だ、ここはというふうに見られるのではないかと、いつも思っている。それについての市の考えを聞きたい。
部会長	関連した意見はないか。どうぞ。
委員	高砂と加古川の市役所窓口を比べても、高砂のほうが少し愛想が悪いという話を耳にする。一度、高砂市の職員が加古川市役所の窓口対応を見るなりしていただきたい。私は月に何度も市役所に行くので、窓口の人とは顔見知りになっており、違和感はないが、やはりあまり行かない人が行くとそう見えることが多いと聞く。よく勉強して、ああ、高砂はよくなったと言ってもらいたい。
事務局	現在、市役所入口の案内業務に関しては業者に委託している。マニュアルをつくって、各部局の仕事内容を把握できるようにしているが、きちんとした対応ができない場合があることについて申しわけなく思う。今後、ていねいな対応をするよう、事務マニュアルを含めて、もう一度見直しをしていきたい。
委員	入口の案内業務は業者委託とのことだが、ボランティア対応に切り替えたほうがよいのではないか。ボランティアの方は一所懸命するし、勉強もする。
部会長	東播磨県民局の総合案内はどうか。
委員	県の場合は、どこに行ったらいいのかわかっている人が来ているが、市役所は、一般の市民が行くため、どこの課に行ったらいいのかがよくわからないということで問い合わせが多いのだろう。
部会長	やはり市民の目線で考えることが大切である。県や他市と同じようにするというよりも、高砂市民が満足できるような方向で取り組んでいただきたい。 ほかに意見、質問はないか。
委員	創造性豊かな職員というのはどんなイメージなのかわからない。それがはたして、この人材育成基本方針に反映されているのかもわからない。たしかに「知恵と工夫」というのは、創造性がないとできないが、どんなイメージなのか。実際、職員の業務は8割ぐらいがルーティンの職務だろうと思うが、

事務局	<p>実際どのようなイメージでこう書いているのか。</p> <p>政権が交代し、地域主権という言葉が使われだしている。地域主権とは、自己決定を指すと思われる。市民に身近な自治体としての役割を充分認識し、特に財源が不十分ななかで、どのように施策を運営していくかということは極めて重要だと考える。そういう意味で、「知恵と工夫」をもって対応できるよう研修に努めていきたいという意味である。</p>
委員	<p>創造は英語で creative (クリエイティブ) だが、それは公務員とまったく反対方向にあると思う。これは、映画人などの芸術家をイメージしているのか。実際に、ほんとうにクリエイティブな人材を採用する計画があるという意味なのか。</p>
部会長	<p>市民の多様化したニーズに応えるのには創造性も必要となるだろう。他市には、市民ニーズに即対応するという「すぐやる課」という課があるという。たとえ少数意見であっても、大事なことだと判断すれば実行に移していく。これも創造性豊かといえるかもしれない。職員主導で、こんなことやろう、あんなことやろうということがいまの財政でできるかどうかはわからないが、そうしたことも含めて、いまの意見を庁内でよく検討してほしい。</p>
事務局	<p>意見の趣旨を踏まえて、これからの計画づくり、研修を含めて検討していきたい。</p>
部会長	<p>ほかに質問、意見はないか。ないようであれば、次に進んでよいか。では次、事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○第5章第2節 2 事務管理について説明。</p>
部会長	<p>ただいまの説明について意見、質問はあるか。</p>
委員	<p>基本目標の、「真に必要な市民サービスを提供するために、市政情報の公開に努める」という意味でいけば、いまの政策の方向でよいと思う。しかし、実際、今後 10 年、20 年で真に必要な市民サービスというのは、財政上の問題もあり、かなり減ってくるだろう。そうなると、真に必要な市民サービスは何だということを突き詰めて考え、行政がやるべきことと、そうでないことを厳格に分ける作業が本当に必要になってくるだろう。ただ、この真に必要な市民サービスは何かの答えは簡単にはみつからない。そして、それをどう施策のなかに入れていくかというのは次元の違う話になるといってもよいだろう。</p>

	<p>考え方の一つとして、市長の判断というのものもある。例えば、民主党政権は政権交代後、行政が提供するサービスが変わるということをはっきり提示している。同じように、高砂市も、行政の提供するサービスを明確にする必要があると思うが、今後、財政が厳しくなるなかで真に必要なものをどのように情報収集して、どうやって提供していくのか。例えば、選挙システムを使って、この市長が通ったから、この方向でいきますというふうになるのか。今後は情報公開だけでは不十分のような気がする。だから、高砂市の計画は、現在の状況を反省して、新たに書き換えることが必要ではないか。書き換えというレベルではなく、もう少し重要な部分があるようにも感じるので、ここはさらっと流さずに、真に必要なものについてもう少し広く議論してもいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>お答えするというよりも、事務局としては、ご意見として受けたまわっておく。</p>
委員	<p>OA化の推進についてだが、私が住んでいるところで地番変更があり、OA化の際、その情報がきちんと伝達されておらず、非常に困った。</p> <p>市がOA化するときは、いつ、何を、どのようにOA化したのか、きちんと情報を残しておくことが大事である。また、市民の問い合わせにしっかりと応えられるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>新しい地番の整理が充分されておらず、不都合があったようだが、そうしたことのないよう、きちんと事務処理したい。</p>
部会長	<p>OA化については、市民の意見としてよく検討してほしい。</p> <p>ほかに意見、質問はないか。ないようなら、次に進む。</p>
事務局	<p>○第5章第2節 3. 行財政運営について説明</p>
部会長	<p>ただいまの説明について意見、質問はあるか。</p>
委員	<p>新しい公会計制度に基づき、市も企業会計型の導入を考えているようだが、財務4表にはインフラの評価なども出てくるので、それにより発生主義会計に向かう。高砂市は非常にインフラの整った市であるので、いい点と悪い点とが出てくるのも事実である。財産をきちんと評価できるという意味では非常にいいが、逆に、財政悪化をごまかすことにもなりかねないとも思う。その点についてはどうか。</p>

事務局	<p>地方団体のこれまでの会計処理は、単式簿記、現金主義が基本だった。今回は、企業会計の諸表で作業を進めているが、たしかに資産の評価作業が大変な部分である。発生主義での会計処理は、当分の間はできない気がしている。総務省が示している改訂版方式での公会計制度という部分については、実際にどのようなかたちになるのかははっきりわからない。他市との比較で評価されてくるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>健全かどうかの判断の一つの指標としてつくられるだけではなく、今後は、いかに長く維持して使うかという方向になっていくと思うが、それについては何か方針があるか。また、今後の総合計画のなかに組み込むことも考えているか。</p> <p>現在の単年度会計主義から資産を管理していく主義に変わっていくだろうが、それを総合計画に組み込んで、今後どのようなインフラ整備をしていくのかということにもかかわってくるだろう。そのあたり市としては何か考え方があるか。アセットマネジメントをどう活用するかに関しての方向性についてはどうか。</p>
事務局	<p>非常に難しい。</p>
委員	<p>まだ方向性は出てないということか。</p>
事務局	<p>おそらくどこの団体も同じような作業をおこなっていると思うが、兵庫県下で取組んでる団体は、ほとんどが総務省の改訂版方式でしている。この会計制度を導入して、どのような位置付けにするのかというのは、まだはっきりまとまっていない。ただ、従来の予算・決算は「地方自治法」で定められているシステムでおこなわなければならない。</p>
委員	<p>難しい話ではある。</p>
部会長	<p>ほかに意見、質問はないか。</p>
委員	<p>現在の総合計画の各章の前に、時代の潮流と計画の視点というところがあるが、今回、その部分をリライトする際、特に時代の潮流の変化として、「真に必要な市民サービスとは何か」といった視点を盛り込んでいったらいいのではないか。</p>
事務局	<p>この部会で、新総合計画に向けての施策のあらたな提言や問題点などをい</p>

	<p>ただいていると認識している。これから新総合計画の基本構想案を詰めていくが、委員から寄せられた意見を時代の潮流の変化と計画の視点などに反映させることも検討する。また、章立てについても修正すべき点があると考えている。</p>
部会長	<p>ほかに質問はないか。</p>
事務局	<p>○第5章第2節 3. 行財政運営 ・行政評価システムの運用について説明</p>
事務局	<p>○行政改革の推進について説明</p>
部会長	<p>ただいまの説明について意見、質問はないか。</p>
事務局	<p>○第5章第2節 4. 地域情報化について説明</p>
部会長	<p>ただいまの説明について質問、意見はないか。</p>
委員	<p>地域情報化の推進事業は廃止となっているが、この項目は次の総合計画ではなくなるということか。</p>
事務局	<p>そうだ。この事業は、ほかの項目へ統合することを考えている。</p>
部会長	<p>そのほかに意見、質問はないか。なければ次に進む。</p>
事務局	<p>○第5章第3節 1 広域行政について説明。</p>
部会長	<p>ただいまの説明について質問、意見はあるか。</p>
委員	<p>夜間急病センター、小児救急対応などの事業が、広域行政の推進に挙げられ、課題が書かれているということは、この課題は広域行政で解決すると解釈していいのか。例えば、夜間急病センターの課題として挙げられている2次救急での対応は、他市、広域で対応するという位置付けなのか。計画も広域ですという位置付けでよいか。</p>
事務局	<p>ここには平成12年当時の広域行政で取り組んでいたものを列挙している。現在は、広域行政の在り方自体を含めて、施策の位置付けは新しい分野に転換されているので、現在のくりに合わせていきたい。</p>
委員	<p>例えば、夜間急病センターの課題が挙げられているが、これは広域化して</p>

	<p>失敗したという意味なのか、今後、広域化していくという意味なのかがわからない。また、夜間救命では、医者不足が課題として挙げられているが、これは広域化しないとだめだという意味なのか、広域化してほしいという意味なのか。2次救急での対策の可能性も考えられるというのは、2次救急は高砂で対応できないという意味なのか。広域化のなかに夜間急病センターという項目が入っているのは、どういう位置付けで考えていこうとしているのか。</p>
部会長	<p>医師の高齢化、あるいは医師不足で医師への負担が考えられるが、このまま継続すると見るのか。医師不足、あるいは医師の負担をどのように軽減していくのかということをお場で深めていくべきなのか。今後、継続しながら、新しい方法でつなげていくということなのか。方向性を聞きたい。</p>
事務局	<p>夜間急病センターを広域行政のくくりで取りあげるのであれば、本来は、病院の体制を広域でどうとらえるかという視点で書くべきだと思う。ただ、いまは十分に答えることができない。</p>
委員	<p>救急医療については、患者をたらい回しにしないように1次、2次、3次の救急の取り組みをきちっとしてほしい。そういう面でも、救急における広域行政の推進は非常に大事だと思うので、よろしくお願したい。</p>
事務局	<p>救急救命体制は、消防、防災のくくりのなかの対応になるだろう。それと広域的な制度をどのように配置するのか、また、役割分担もはっきりさせるべきであると思う。このすみ分けをきちんと整理していきたい。</p>
部会長	<p>広域行政は高砂市単独で考えられることではないため、方向性が「継続」となっていると私は理解している。いまの意見など、広域行政のなかで反映していただきたい。</p>
委員	<p>東播磨臨海地域、要するに2市2町の担当医師の輪番制度が組みにくくなっているとある。組みにくくなっているということは、広域でもだめだということである。これを打開するために、さらに広域にして、要するに、神戸市西区も含むようなかたちでやったほうがいいと考えているのか、それとも広域行政から外して、もっと別の発想で進めていかなくてはならないと考えているのか。</p> <p>救急の問題は非常に市民の関心が高い部分でもあり、広域だけで判断する話ではないのかもしれない。そもそも広域のなかに入れること自体、若干違和感はある。広域にかかわる話なので、入れられているのだと思うが。</p> <p>これは以前の総合計画で書かれたものだと思うが、いまの時代だと、もっ</p>

<p>部会長</p>	<p>と違った側面が出てくるかなとは思う。</p> <p>医療行政は命にかかわる問題なので、高砂市内での対応ができなくても、広域化することによって市外で診察を受けることができるというメリットがなければならない。そういう点で市民は継続を要望しているにとらえてほしい。医療だけではなく、すべてのことについて広域性が盛んにいわれているが、すべてそういう方向で取り組んでいただきたい。</p> <p>ほかに意見、質問はないか。</p>
<p>部会長</p>	<p>市史編さんの項目から広域行政まで、全体を通して何か意見はないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>○工業公園について説明。</p>
<p>部会長</p>	<p>工業公園は、賃貸として計画されたのか、売却を予定して計画されたのか。工業公園の推進にあたって積極的に取り組むということだが、今後も賃貸でいくのか、あるいは積極的に売却に取り組むのか、どのように考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>賃貸から売却へ方向転換を考えている。</p>
<p>部会長</p>	<p>高砂市が賃貸で計画していたのであれば順調にいとていられるだろうが、売却を予定していたのであれば、財政面にどのように影響を与えているのか知りたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>工業公園はすべての区画を売却する予定だったが、工業公園の完成が地価の暴落時期に重なり、社会情勢、経済情勢の悪化によってすべて売却することができなかった。未売却の土地は現在、賃貸というかたちをとっている。</p> <p>全体で15万7千平米、54区画、15万7千平米のうち、現在8区画の3万9千平米が売却済みであり、44区画、11万平米が現在賃貸中、残り2区画が現在交渉中という状況である。賃貸契約期間終了後には、売却をしたいと考えている。</p>
<p>部会長</p>	<p>いずれにしても、計画どおりに推進することが非常に重要であり、そのことが市民にとっての安全で、安心できるまちにつながる。財政が逼迫しているというニュースを聞くと、市民の不安が増大する。そうしたことを充分検討に検討を重ねたうえで、慎重に推進していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>NPO法人の主催するスポーツチームが、公園を大きく占領してしまい、地域の子どもが隅に追いやられているような状況が見受けられる。地域のた</p>

部会長	<p>めの公園が、地域のためになっていない。市は、そういった使い方がなされていることを知っているのか。</p> <p>事務局はこの事実を把握しているか。</p>
事務局	<p>所管としては、まちづくり部になる。実情や管理方法自体について、よくは承知していないので、ご指摘の件、所管課に伝えておく。</p>
部会長	<p>ほかに意見、質問はないか。</p> <p>ないようなので、部会ごとの課題審議については、これで終了させていただく。今後、私と副部会長、事務局で3回行った部会でのご意見を取りまとめるが、よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは次、スケジュールについて事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>○スケジュールについて説明</p>
部会長	<p>その他について、質問、意見はないか。ないようなので、これにて閉会とする。今日は、大変お忙しいなか、出席いただき、貴重なご意見、ご質問をいただいた。これを第4次総合計画策定、市民が安心して暮らせる高砂市構築のために生かしていきたいとも考えている。本日は、どうもご苦労さま。</p> <p><b>閉 会</b></p>